

「高校教育に関する県民意識調査」集計結果  
平成20年11月実施

資料2

平成20年12月24日

1 あなたの年齢をお聞かせください。

	中2		高2		中保		高保		県民		進路指導主事	合計	
20代					2	0.2%	0	0.0%	49	5.4%		51	1.4%
30代					276	20.9%	84	6.4%	115	12.8%		475	13.4%
40代					882	66.8%	903	68.8%	217	24.1%		2002	56.6%
50代					150	11.4%	304	23.2%	301	33.4%		755	21.4%
60歳以上					10	0.8%	16	1.2%	216	24.0%		242	6.8%
無回答・無効					1	0.1%	5	0.4%	3	0.3%		9	0.3%
合計					1321	100.0%	1312	100.0%	901	100.0%		3534	100.0%

2 あなたの性別をお聞かせください。

	中2		高2		中保		高保		県民		進路指導主事	合計	
男	719	50.5%	835	54.3%	203	15.4%	254	19.4%	368	40.8%		2379	36.6%
女	703	49.4%	702	45.7%	1117	84.6%	1055	80.4%	532	59.0%		4109	63.3%
無回答・無効	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	3	0.2%	1	0.1%		6	0.1%
合計	1423	100.0%	1537	100.0%	1321	100.0%	1312	100.0%	901	100.0%		6494	100.0%

3 あなたのお住まいをお聞かせください。

	中2		高2		中保		高保		県民		進路指導主事	合計	
仙南地区(白石市・角田市・刈田郡・柴田郡・伊具郡)	194	13.6%	229	14.9%	179	13.6%	203	15.5%	110	12.2%		915	14.1%
仙台市	411	28.9%	313	20.4%	383	29.0%	264	20.1%	107	11.9%		1478	22.8%
仙台市を除く仙塩地区(塩竈市・名取市・多賀城市・岩沼市・亶理郡・宮城郡・黒川郡)	351	24.7%	267	17.4%	323	24.5%	233	17.8%	103	11.4%		1277	19.7%
大崎地区(大崎市・加美郡・遠田郡)	196	13.8%	207	13.5%	183	13.9%	167	12.7%	112	12.4%		865	13.3%
栗原地区(栗原市)	27	1.9%	107	7.0%	26	2.0%	94	7.2%	134	14.9%		388	6.0%
登米地区(登米市)	30	2.1%	104	6.8%	26	2.0%	86	6.6%	120	13.3%		366	5.6%
石巻地区(石巻市・東松島市・牡鹿郡)	133	9.3%	208	13.5%	115	8.7%	167	12.7%	107	11.9%		730	11.2%
気仙沼・本吉地区(気仙沼市・本吉郡)	77	5.4%	98	6.4%	75	5.7%	85	6.5%	96	10.7%		431	6.6%
無回答・無効	4	0.3%	4	0.3%	11	0.8%	13	1.0%	12	1.3%		44	0.7%
合計	1423	100.0%	1537	100.0%	1321	100.0%	1312	100.0%	901	100.0%		6494	100.0%

4 あなたの世帯主のお仕事についてお伺いします。あなたの世帯主はどの産業分野に従事していますか。(複数の業種にまたがって従事している場合は、主に従事している分野を一つだけお選びください。)

	中2		高2		中保		高保		県民		進路指導主事	合計	
第一次産業(農業・林業・水産業)					119	9.0%	125	9.5%	156	17.3%		400	11.3%
第二次産業(鉱業・製造業・建設業)					366	27.7%	368	28.0%	181	20.1%		915	25.9%
第三次産業のうち卸売・小売業					126	9.5%	116	8.8%	52	5.8%		294	8.3%
第三次産業のうち運輸・通信業					114	8.6%	139	10.6%	57	6.3%		310	8.8%
第三次産業のうちサービス業					249	18.8%	235	17.9%	148	16.4%		632	17.9%
第三次産業のうち上記以外(電気・ガス・水道業・金融・保険業・政府サービス等)					241	18.2%	223	17.0%	131	14.5%		595	16.8%
無職					85	6.4%	78	5.9%	164	18.2%		327	9.3%
無回答・無効					21	1.6%	28	2.1%	12	1.3%		61	1.7%
合計					1321	100.0%	1312	100.0%	901	100.0%		3534	100.0%

5 あなたには、現在、お子様が何人いらっしゃいますか。

	中2	高2	中保	高保	県民	進路指導主事	合計
0人					177	19.6%	177 5.0%
1人			139	10.5%	106	8.1%	149 16.5%
2人			609	46.1%	596	45.4%	333 37.0%
3人			467	35.4%	477	36.4%	197 21.9%
4人以上			99	7.5%	121	9.2%	23 2.6%
無回答・無効			7	0.5%	12	0.9%	22 2.4%
合計			1321	100.0%	1312	100.0%	901 100.0%

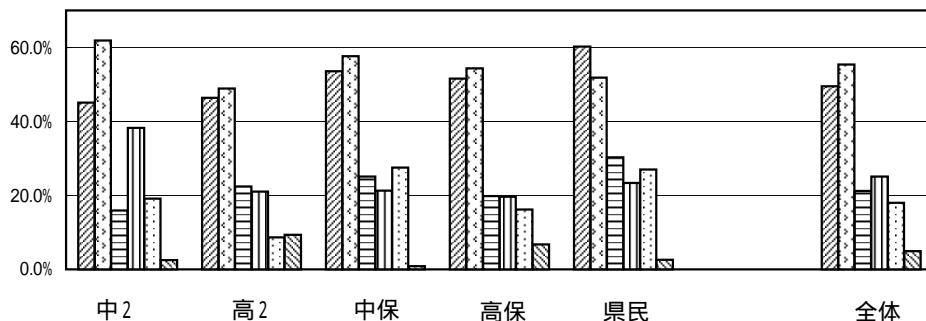
6 あなた(お子様)は、どの学科に在籍していますか。

	中2	高2	中保	高保	県民	進路指導主事	合計
全日制課程 普通科		605	39.4%		552	42.1%	1157 40.6%
全日制課程 専門学科		701	45.6%		564	43.0%	1265 44.4%
全日制課程 総合学科		80	5.2%		87	6.6%	167 5.9%
定時制課程		136	8.8%		91	6.9%	227 8.0%
通信制課程		7	0.5%		7	0.5%	14 0.5%
無回答・無効		8	0.5%		11	0.8%	19 0.7%
合計		1537	100.0%		1312	100.0%	2849 100.0%

7 あなた(お子様)が高校に進学する(した)際に、最も重視する(した)ことは何ですか。あなたの考えに近いものを二つ以内でお選びください。(県民は高校生以下の子どもがいる場合のみ回答)

	中2	高2	中保	高保	県民	進路指導主事	合計					
高校卒業後の進学や就職の問題	641	45.0%	713	46.4%	708	53.6%	677	51.6%	165	60.2%	2904	49.5%
子ども本人(自分)の学力	880	61.8%	752	48.9%	761	57.6%	713	54.3%	142	51.8%	3248	55.4%
日々の通学(通学時間、安全性)	227	16.0%	344	22.4%	331	25.1%	260	19.8%	83	30.3%	1245	21.2%
部活動や学校生活の充実度	544	38.2%	323	21.0%	281	21.3%	258	19.7%	64	23.4%	1470	25.1%
授業料や通学費など高校進学にかかる費用	272	19.1%	133	8.7%	364	27.6%	212	16.2%	74	27.0%	1055	18.0%
その他	36	2.5%	144	9.4%	12	0.9%	88	6.7%	7	2.6%	287	4.9%
無回答・無効												
(回答者数)	(1423)	182.7%	(1537)	156.7%	(1321)	186.0%	(1312)	168.3%	(274)	195.3%	(5867)	174.0%

全体では、「学力」を重視する回答が最も高く、55.4%を占めた。  
 次いで、「卒業後の進学や就職の問題」を重視する回答が49.5%を占めた。  
 中学生においては、「部活動や学校生活の充実度」を重視する傾向が見られる一方、「日々の通学」は、比較的重視度が低い傾向となった。



8 (中・中保・県)あなた(お子様)が、高校に進学する場合、毎日の通学時間として最大でどのくらいの時間までであれば通学できると思いますか。一つだけお選びください。(県民は中学生以下の子どもがいる場合に回答)  
 (高・高保・県)あなた(お子様)の高校までの通学時間はどのくらいですか。次のうち、一つだけお選びください。(県民は高校生の子どもの場合に回答)

	中2	高2	中保	高保	県民	進路指導主事	合計					
片道30分以内	338	23.8%	791	51.5%	231	17.5%	670	51.1%	91	32.3%	2121	36.1%
片道1時間以内	746	52.4%	541	35.2%	928	70.2%	497	37.9%	153	54.3%	2865	48.8%
片道1時間半以内	276	19.4%	163	10.6%	141	10.7%	110	8.4%	31	11.0%	721	12.3%
片道2時間以内	43	3.0%	29	1.9%	12	0.9%	22	1.7%	7	2.5%	113	1.9%
片道2時間超	10	0.7%	10	0.7%	3	0.2%	3	0.2%	0	0.0%	26	0.4%
無回答・無効	10	0.7%	3	0.2%	6	0.5%	10	0.8%	(619)		29	0.5%
合計	1423	100.0%	1537	100.0%	1321	100.0%	1312	100.0%	282	100.0%	5875	100.0%

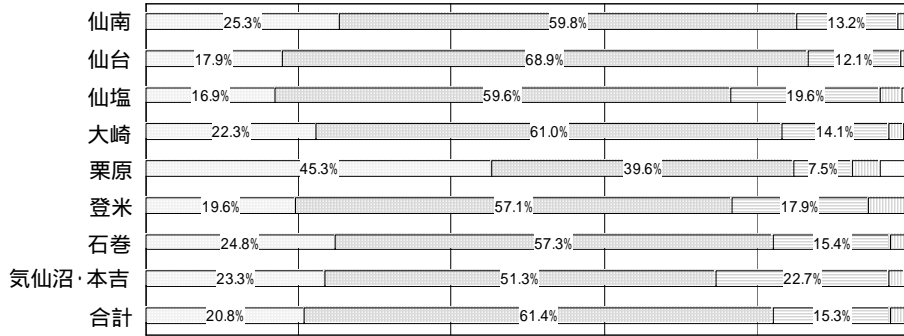
「通学できる時間」や「実際の通学時間」については、1時間半以内までの回答が全体の97.2%を占めた。また、1時間以内までの回答では、全体の84.9%を占めた。  
 中学生では、「1時間以内」が52.4%で「30分以内」の23.8を上回ったが、高校生では、「30分以内」が51.5%、「1時間以内」が35.2%であり、実際の通学時間は短い傾向がうかがえる。  
 中学生保護者においては「1時間以内」とした回答が70.2%を占めた。

## 各地区の比較

### 中学生とその保護者

居住地区無回答者と通学時間無回答者を除いて集計したもの

	片道30分以内		片道1時間以内		片道1時間半以内		片道2時間以内		片道2時間超		合計	
仙南地区	94	25.3%	222	59.8%	49	13.2%	6	1.6%	0	0.0%	371	100.0%
仙台市	142	17.9%	546	68.9%	96	12.1%	8	1.0%	1	0.1%	793	100.0%
仙塩地区	113	16.9%	398	59.6%	131	19.6%	20	3.0%	6	0.9%	668	100.0%
大崎地区	84	22.3%	230	61.0%	53	14.1%	7	1.9%	3	0.8%	377	100.0%
栗原地区	24	45.3%	21	39.6%	4	7.5%	2	3.8%	2	3.8%	53	100.0%
登米地区	11	19.6%	32	57.1%	10	17.9%	3	5.4%	0	0.0%	56	100.0%
石巻地区	61	24.8%	141	57.3%	38	15.4%	6	2.4%	0	0.0%	246	100.0%
気仙沼・本吉地区	35	23.3%	77	51.3%	34	22.7%	3	2.0%	1	0.7%	150	100.0%
合計	564	20.8%	1667	61.4%	415	15.3%	55	2.0%	13	0.5%	2714	100.0%

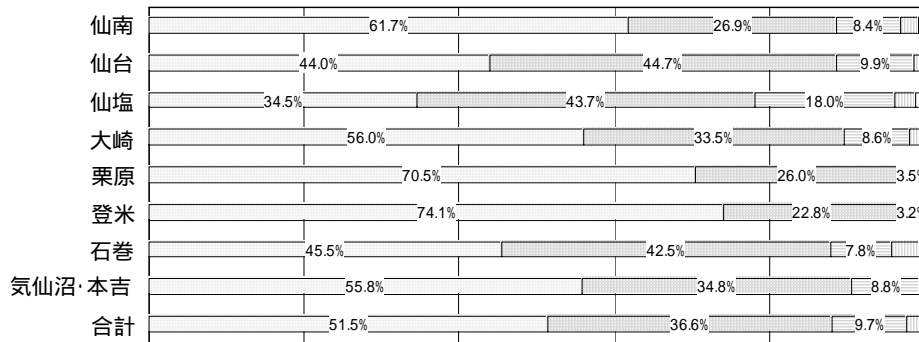


栗原地区の「30分以内」と回答した割合の高さは、調査対象中学校の所在地が要因の1つとなっている可能性がある。(30分以内で通学できる範囲に4つの高校がある。)

### 高校生とその保護者

居住地区無回答者と通学時間無回答者を除いて集計したもの

	片道30分以内		片道1時間以内		片道1時間半以内		片道2時間以内		片道2時間超		合計	
仙南地区	266	61.7%	116	26.9%	36	8.4%	10	2.3%	3	0.7%	431	100.0%
仙台市	253	44.0%	257	44.7%	57	9.9%	7	1.2%	1	0.2%	575	100.0%
仙塩地区	172	34.5%	218	43.7%	90	18.0%	13	2.6%	6	1.2%	499	100.0%
大崎地区	209	56.0%	125	33.5%	32	8.6%	6	1.6%	1	0.3%	373	100.0%
栗原地区	141	70.5%	52	26.0%	7	3.5%	0	0.0%	0	0.0%	200	100.0%
登米地区	140	74.1%	43	22.8%	6	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	189	100.0%
石巻地区	170	45.5%	159	42.5%	29	7.8%	14	3.7%	2	0.5%	374	100.0%
気仙沼・本吉地区	101	55.8%	63	34.8%	16	8.8%	1	0.6%	0	0.0%	181	100.0%
合計	1452	51.5%	1033	36.6%	273	9.7%	51	1.8%	13	0.5%	2822	100.0%



仙台市及び仙塩地区では、「30分以内」で通学している割合が他地区より低くなっている。

9 あなた(お子様に)は、どの学校段階まで進学したい(させたい)ですか。(県民は高校生以下の子どもがいる場合のみ回答)

	中2		高2		中保		高保		県民		進路指導主事		合計	
中学校	5	0.4%			8	0.6%			1	0.4%			14	0.5%
高校	438	30.8%			327	24.8%			50	18.2%			815	27.0%
高等専門学校(宮城高専・仙台電波高専等)	42	3.0%			29	2.2%			12	4.4%			83	2.8%
専門学校(専修学校・各種学校)	283	19.9%			220	16.7%			33	12.0%			536	17.8%
短大・大学	594	41.7%			674	51.0%			173	63.1%			1441	47.7%
大学院	50	3.5%			28	2.1%			5	1.8%			83	2.8%
無回答・無効	11	0.8%			35	2.6%			(627)				46	1.5%
合計	1423	100.0%			1321	100.0%			274	100.0%			3018	100.0%

全体では、「短大・大学」までの進学希望が47.7%を占めた。また、専門学校と大学院等を含めた高校以上の進学を希望する割合は約67%を占めている。

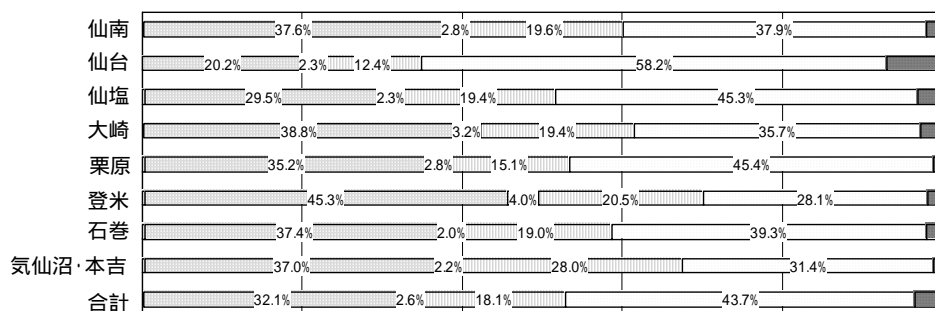
在籍学科	高2								高保							
	普通科		専門学科		総合学科		定時・通信		普通科		専門学科		総合学科		定時・通信	
中学校																
高校	114	18.9%	345	49.4%	45	56.3%	88	62.9%	91	16.9%	251	45.1%	43	49.4%	62	63.3%
高等専門学校(宮城高専・仙台電波高専等)	8	1.3%	24	3.4%	1	1.3%	4	2.9%	5	0.9%	17	3.1%	1	1.1%	4	4.1%
専門学校(専修学校・各種学校)	92	15.3%	136	19.5%	26	32.5%	29	20.7%	72	13.3%	105	18.9%	26	29.9%	21	21.4%
短大・大学	355	59.0%	163	23.4%	7	8.8%	17	12.1%	347	64.3%	166	29.8%	16	18.4%	11	11.2%
大学院	33	5.5%	30	4.3%	1	1.3%	2	1.4%	25	4.6%	18	3.2%	1	1.1%	0	0.0%
合計	602	100.0%	698	100.0%	80	100.0%	140	100.0%	540	100.0%	557	100.0%	87	100.0%	98	100.0%

今回の調査対象のうち高校生とその保護者については、全日制普通科の回答者の割合が実際の割合より小さいので、それを考慮する必要がある。そのため、別集計とした。  
進路希望無回答者と在籍学科無回答者を除いて集計した。

各地区の比較

居住地区無回答者と希望進路無回答者を除いて集計したもの

	中学校		高校		高等専門学校 (宮城高専・仙台電波高専)		専門学校 (専修学校・各種学校)		短大・大学		大学院		合計	
仙南地区	2	0.2%	313	37.6%	23	2.8%	163	19.6%	316	37.9%	16	1.9%	833	100.0%
仙台市	0	0.0%	281	20.2%	32	2.3%	172	12.4%	809	58.2%	95	6.8%	1389	100.0%
仙塩地区	5	0.4%	352	29.5%	28	2.3%	232	19.4%	540	45.3%	36	3.0%	1193	100.0%
大崎地区	2	0.3%	300	38.8%	25	3.2%	150	19.4%	276	35.7%	21	2.7%	774	100.0%
栗原地区	1	0.4%	100	35.2%	8	2.8%	43	15.1%	129	45.4%	3	1.1%	284	100.0%
登米地区	1	0.4%	126	45.3%	11	4.0%	57	20.5%	78	28.1%	5	1.8%	278	100.0%
石巻地区	2	0.3%	243	37.4%	13	2.0%	123	19.0%	255	39.3%	13	2.0%	649	100.0%
気仙沼・本吉地区	1	0.3%	132	37.0%	8	2.2%	100	28.0%	112	31.4%	4	1.1%	357	100.0%
合計	14	0.2%	1847	32.1%	148	2.6%	1040	18.1%	2515	43.7%	193	3.4%	5757	100.0%

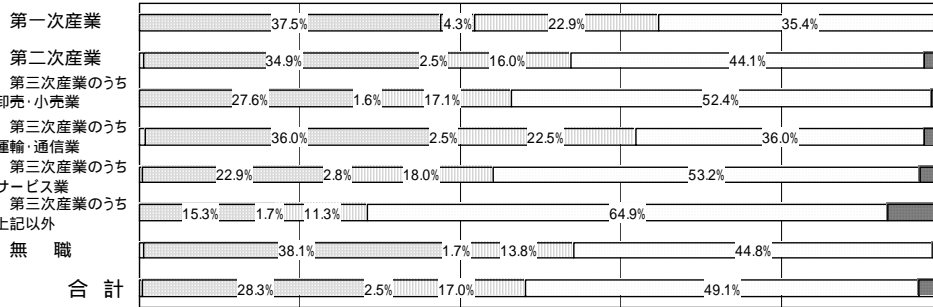


子どもより親、高校生より中学生(同保護者)の方が、「短大・大学」への進学希望が高い結果となった。  
地区別に見ると、仙台市では、「短大・大学」まで進学を希望する割合が58.2%あり、他地区を10ポイント以上上回った。

世帯主の業種による比較

居住地区無回答者と希望進路無回答者を除いて集計したもの

	中学校		高校		高等専門学校 (宮城高等・仙台電波高等)		専門学校 (専修学校・各種学校)		短大・大学		大学院		合計	
第一次産業	0	0.0%	105	37.5%	12	4.3%	64	22.9%	99	35.4%	0	0.0%	280	100.0%
第二次産業	4	0.5%	268	34.9%	19	2.5%	123	16.0%	339	44.1%	16	2.1%	769	100.0%
第三次のうちの卸売・小売業	0	0.0%	68	27.6%	4	1.6%	42	17.1%	129	52.4%	3	1.2%	246	100.0%
第三次のうちの運輸・通信業	2	0.7%	99	36.0%	7	2.5%	62	22.5%	99	36.0%	6	2.2%	275	100.0%
第三次のうちのサービス業	2	0.4%	122	22.9%	15	2.8%	96	18.0%	283	53.2%	14	2.6%	532	100.0%
第三次のうちの上記以外	0	0.0%	80	15.3%	9	1.7%	59	11.3%	339	64.9%	35	6.7%	522	100.0%
無職	1	0.6%	69	38.1%	3	1.7%	25	13.8%	81	44.8%	2	1.1%	181	100.0%
合計	9	0.3%	742	28.3%	66	2.5%	446	17.0%	1288	49.1%	74	2.8%	2625	100.0%



世帯主の業種別に見ると、「短大・大学」への進学希望が50%以上あるのは、第三次産業のうち卸売・小売業とサービス業、それ以外の3業種であり、中でも第三次産業の上記以外の業種は64.9%を占めた。

10-1 9の質問では、なぜそのようにお考えになりましたか。その理由について、次の選択肢の中から、あなたの考えに近いものを一つだけお選びください。(中学生、高校生)

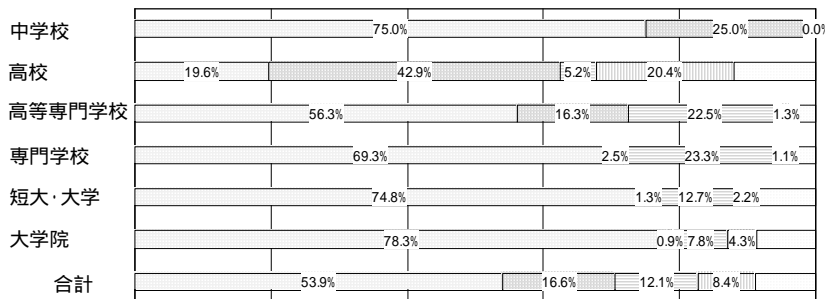
	中2		高2		中保		高保		県民		進路指導主事		合計	
自分が望んでいる知識の修得や職業に就くため	777	54.6%	808	52.6%									1585	53.5%
勉強を続けるよりも早く社会に出たいから	215	15.1%	270	17.6%									485	16.4%
職業資格をとりたいため	209	14.7%	148	9.6%									357	12.1%
家計の状況から考えて適当だから	84	5.9%	162	10.5%									246	8.3%
その他	124	8.7%	135	8.8%									259	8.8%
無回答・無効	14	1.0%	14	0.9%									28	0.9%
合計	1423	100.0%	1537	100.0%									2960	100.0%

進路希望別その理由

中学生・高校生

希望進路無回答者とその理由無回答者を除いて集計したもの

希望進路	理由	自分が望んでいる知識の修得や職業に就くため	勉強を続けるよりも早く社会に出たいから	職業資格をとりたいため	家計の状況から考えて適当だから	その他	合計
中学校	3	75.0%	1	25.0%	0	0.0%	4
高校	201	19.6%	440	42.9%	53	5.2%	1025
高等専門学校	45	56.3%	13	16.3%	18	22.5%	80
専門学校	390	69.3%	14	2.5%	131	23.3%	563
短大・大学	844	74.8%	15	1.3%	143	12.7%	1129
大学院	90	78.3%	1	0.9%	9	7.8%	115
合計	1573	53.9%	484	16.6%	354	12.1%	2916



「自分が望んでいる知識の修得や職業に就くため」という理由が全体の53.9%を占めた。  
希望進路別では、高校までと解答した生徒では、「早く社会に出たいから」という理由が42.9%と最も高く、「家計の状況」や「望みの職業に就くため」の20.4%、19.6%を大きく上回っている。また、「職業資格をとりたいため」という理由は、5.2%であった。  
一方、高専や専門学校、大学等、高校以上の進学を希望する生徒では、「望みの職業に就くため」という理由が約6～8割を占めている。

10-2 9の質問では、なぜそのようにお考えになりましたか。その理由について、次の選択肢の中から、あなたの考えに近いもの一つだけお選びください。(保護者、県民)

	中2	高2	中保	高保	県民	進路指導主事	合計			
子ども本人が希望			307	23.2%	638	48.6%	67	23.9%	1012	34.7%
子どもの将来の就職などを考えて			755	57.2%	451	34.4%	164	58.6%	1370	47.0%
選択した学校段階以上には必要ないと思うから			41	3.1%	25	1.9%	8	2.9%	74	2.5%
我が家の家計を考えて			130	9.8%	136	10.4%	22	7.9%	288	9.9%
その他			63	4.8%	34	2.6%	19	6.8%	116	4.0%
無回答・無効			25	1.9%	28	2.1%	(621)		53	1.8%
合計			1321	100.0%	1312	100.0%	280	100.0%	2913	100.0%

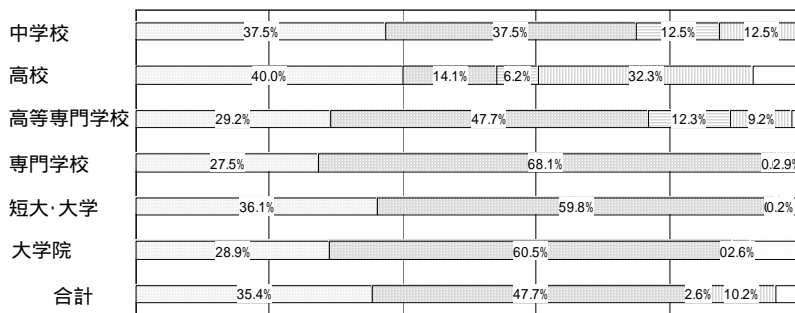
中学生保護者では、「子どもの将来の職業など」を理由とする回答が最も高く、57.2%を占めたのに対し、高校生保護者では、「子ども本人が希望」が最も高く48.6%を占めた。

### 進路希望別その理由

保護者・県民

希望進路無回答者とその理由無回答者を除いて集計したもの

理由	子ども本人が希望	子どもの将来の就職などを考えて	選択した学校段階以上には必要ないと思うから	我が家の家計を考えて	その他	合計						
希望進路												
中学校	3	37.5%	3	37.5%	1	12.5%	1	12.5%	0	0.0%	8	100.0%
高校	323	40.0%	114	14.1%	50	6.2%	261	32.3%	60	7.4%	808	100.0%
高等専門学校	19	29.2%	31	47.7%	8	12.3%	6	9.2%	1	1.5%	65	100.0%
専門学校	131	27.5%	325	68.1%	3	0.6%	14	2.9%	4	0.8%	477	100.0%
短大・大学	497	36.1%	822	59.8%	10	0.7%	3	0.2%	43	3.1%	1375	100.0%
大学院	22	28.9%	46	60.5%	0	0.0%	2	2.6%	6	7.9%	76	100.0%
合計	995	35.4%	1341	47.7%	72	2.6%	287	10.2%	114	4.1%	2809	100.0%

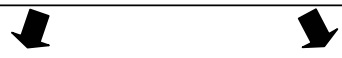


進路希望別に見ると、「高校」では、「子ども本人が希望」が最も高く、次いで「家計」を理由とする回答が高いが、「高校以外」では、概ね「子どもの将来の就職などを考えて」が最も高く、次いで、「子ども本人が希望」を理由とする回答となっている。

11 (中・中保)あなたが(お子様が)高校に進学するとしたら、どの課程・学科に進学したい(させたい)ですか。  
 (高・高保・県民)あなたが(お子様が)いま学科を選べるとしたら、どの学科を選びますか。(県民は高校生以下の子どもがいる場合のみ回答)

	中2		高2		中保		高保		県民		進路指導主事	合計	
全日制課程 普通科	907	63.7%			791	59.9%			138	49.8%		1836	60.8%
全日制課程 専門学科a (農業,工業,商業等の職業に関する学科)	259	18.2%			229	17.3%			46	16.6%		534	17.7%
全日制課程 専門学科b (理数科,英語科,美術科等の職業系以外の学科)	97	6.8%			41	3.1%			17	6.1%		155	5.1%
全日制課程 総合学科	121	8.5%			245	18.5%			74	26.7%		440	14.6%
定時制課程	14	1.0%			5	0.4%			0	0.0%		19	0.6%
通信制課程	12	0.8%			2	0.2%			2	0.7%		16	0.5%
無回答・無効	13	0.9%			8	0.6%			(624)			21	0.7%
合計	1423	100.0%			1321	100.0%			277	100.0%		3021	100.0%

全体では、「全日制課程普通科」と回答した割合が60.8%と最も高く、次いで、「職業系専門学科」とする回答が17.7%であった。



在籍学科	高2								高保							
	普通科		専門学科		総合学科		定時・通信		普通科		専門学科		総合学科		定時・通信	
全日制課程 普通科	413	68.3%	154	22.1%	17	21.5%	27	19.4%	374	69.1%	115	20.5%	19	21.8%	25	26.0%
全日制課程 専門学科a (農業,工業,商業等の職業に関する学科)	64	10.6%	307	44.0%	23	29.1%	23	16.5%	58	10.7%	247	44.1%	20	23.0%	22	22.9%
全日制課程 専門学科b (理数科,英語科,美術科等の職業系以外の学科)	55	9.1%	133	19.1%	6	7.6%	6	4.3%	29	5.4%	91	16.3%	8	9.2%	5	5.2%
全日制課程 総合学科	55	9.1%	61	8.8%	24	30.4%	13	9.4%	76	14.0%	101	18.0%	38	43.7%	15	15.6%
定時制課程	9	1.5%	20	2.9%	3	3.8%	60	43.2%	2	0.4%	2	0.4%	1	1.1%	28	29.2%
通信制課程	9	1.5%	22	3.2%	6	7.6%	10	7.2%	2	0.4%	4	0.7%	1	1.1%	1	1.0%
合計	605	100.0%	697	100.0%	79	100.0%	139	100.0%	541	100.0%	560	100.0%	87	100.0%	96	100.0%

今回の調査対象のうち高校生とその保護者については、全日制普通科の回答者の割合が実際の割合より小さいので、それを考慮する必要がある。そのため、別集計とした。  
 希望学科無回答者と在籍学科無回答者を除いて集計した。

高校生及びその保護者の希望学科を現在の在籍学科とクロスしてみると、全ての区分で現在の在籍学科を希望する割合が最も高い回答であったが、総合学科に在籍している高校生においては、職業系専門学科や普通科を希望する割合も比較的高かった。また、定時制・通信制に在籍している生徒と保護者を比較してみると、保護者の方が全日制課程を希望している割合が高かった。

12 11の質問で、と回答した方のみお答えください。専門学科のうち、どの学科で学びたい(ばせたい)ですか。一つだけお選びください。

	中2	高2	中保	高保	県民	進路指導主事	合計
農業に関する学科	18 5.1%		12 4.4%		3 4.8%		33 4.8%
工業に関する学科	108 30.3%		106 39.3%		17 27.0%		231 33.5%
商業に関する学科	37 10.4%		39 14.4%		4 6.3%		80 11.6%
水産に関する学科	5 1.4%		2 0.7%		1 1.6%		8 1.2%
家庭に関する学科	17 4.8%		4 1.5%		2 3.2%		23 3.3%
看護に関する学科	16 4.5%		13 4.8%		4 6.3%		33 4.8%
情報に関する学科	16 4.5%		23 8.5%		9 14.3%		48 7.0%
福祉に関する学科	16 4.5%		18 6.7%		9 14.3%		43 6.2%
理数に関する学科	31 8.7%		12 4.4%		1 1.6%		44 6.4%
外国語に関する学科	12 3.4%		5 1.9%		5 7.9%		22 3.2%
音楽・芸術に関する学科	47 13.2%		15 5.6%		6 9.5%		68 9.9%
体育に関する学科	29 8.1%		7 2.6%		0 0.0%		36 5.2%
無回答・無効	4 1.1%		14 5.2%		2 3.2%		20 2.9%
合計	356 100.0%		270 100.0%		63 100.0%		689 100.0%

専門学科では、調査対象者全てにおいて、「工業」と回答した割合が最も高く、全体では33.5%を占め、次いで「商業」が11.6%を占めた。  
「工業」及び「商業」以外では、中学生においては、「音楽・芸術」が比較的高く、保護者においては、「情報」が比較的高い結果となった。

在籍学科	高2							
	普通科		専門学科		総合学科		定時・通信	
農業に関する学科	5 4.2%	33 7.7%	2 7.1%	2 6.9%	4 4.7%	23 7.1%	2 7.1%	0 0.0%
工業に関する学科	22 18.6%	114 26.5%	8 28.6%	11 37.9%	22 25.9%	94 28.8%	10 35.7%	9 34.6%
商業に関する学科	11 9.3%	55 12.8%	10 35.7%	3 10.3%	8 9.4%	40 12.3%	2 7.1%	3 11.5%
水産に関する学科	0 0.0%	7 1.6%	0 0.0%	1 3.4%	2 2.4%	7 2.1%	0 0.0%	1 3.8%
家庭に関する学科	7 5.9%	28 6.5%	2 7.1%	2 6.9%	3 3.5%	8 2.5%	1 3.6%	0 0.0%
看護に関する学科	13 11.0%	25 5.8%	1 3.6%	2 6.9%	6 7.1%	22 6.7%	2 7.1%	2 7.7%
情報に関する学科	9 7.6%	24 5.6%	0 0.0%	3 10.3%	5 5.9%	34 10.4%	8 28.6%	5 19.2%
福祉に関する学科	6 5.1%	30 7.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 8.2%	28 8.6%	1 3.6%	4 15.4%
理数に関する学科	7 5.9%	28 6.5%	1 3.6%	0 0.0%	8 9.4%	26 8.0%	1 3.6%	0 0.0%
外国語に関する学科	12 10.2%	25 5.8%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.9%	18 5.5%	0 0.0%	1 3.8%
音楽・芸術に関する学科	20 16.9%	42 9.7%	4 14.3%	5 17.2%	10 11.8%	17 5.2%	1 3.6%	0 0.0%
体育に関する学科	6 5.1%	20 4.6%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.9%	9 2.8%	0 0.0%	1 3.8%
合計	118 100.0%	431 100.0%	28 100.0%	29 100.0%	85 100.0%	326 100.0%	28 100.0%	26 100.0%

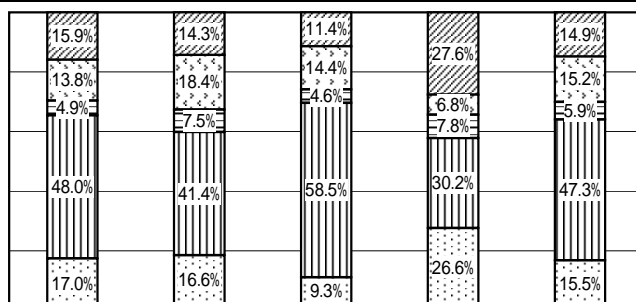
希望専門学科無回答者と在籍学科無回答者を除いて集計したもの

## これからの県立高校教育について

13 高校の学科には、普通科、専門学科、総合学科の3学科がありますが、これからの本県の高校教育においては、これら3つの学科のうち、どの学科の割合を増やしていくべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを一つだけお選びください。

	中2	高2	中保	高保	県民	進路指導主事	合計
普通科			210 15.9%	188 14.3%	103 11.4%	53 27.6%	554 14.9%
専門学科a (農業、工業、商業等の職業に関する学科)			182 13.8%	241 18.4%	130 14.4%	13 6.8%	566 15.2%
専門学科b (理数科、英語科、美術科等の職業系以外の学科)			65 4.9%	98 7.5%	41 4.6%	15 7.8%	219 5.9%
総合学科			634 48.0%	543 41.4%	527 58.5%	58 30.2%	1762 47.3%
どちらともいえない			224 17.0%	218 16.6%	84 9.3%	51 26.6%	577 15.5%
無回答・無効			6 0.5%	24 1.8%	16 1.8%	2 1.0%	48 1.3%
合計			1321 100.0%	1312 100.0%	901 100.0%	192 100.0%	3726 100.0%

全ての調査対象者において、「総合学科」と回答した割合が高く、全体では47.3%を占めた。  
中学校の進路指導主事においては、「総合学科」の30.2%に対して、「普通科」が27.6%と拮抗した回答結果であった。





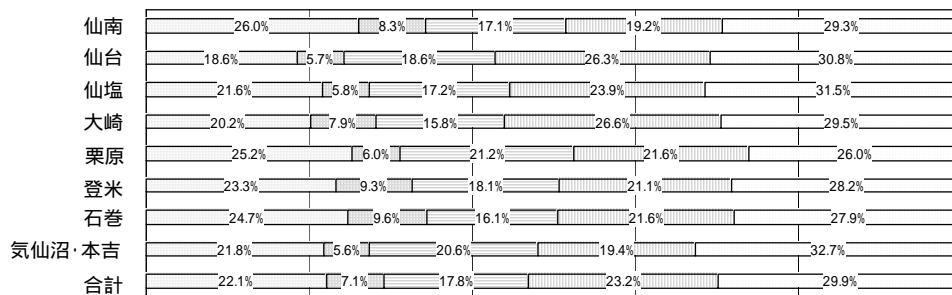
14 中学・高校の6年間で一貫性をもたせた体系的な教育方式(中高一貫教育)があります。この中高一貫教育は、現在、連携型、併設型、中等教育学校の3タイプで展開されています。この中高一貫教育校について、どう思いますか。あなたの考えに近いもの一つだけお選びください。

	中2	高2	中保	高保	県民	進路指導主事	合計					
連携型の中高一貫教育校を増やすべき			291	22.0%	291	22.2%	194	21.5%	17	8.9%	793	21.3%
併設型の中高一貫教育校を増やすべき			84	6.4%	91	6.9%	73	8.1%	9	4.7%	257	6.9%
中等教育学校を増やすべき			210	15.9%	206	15.7%	202	22.4%	29	15.1%	647	17.4%
増やす必要は感じない			273	20.7%	321	24.5%	212	23.5%	111	57.8%	917	24.6%
どちらともいえない			454	34.4%	379	28.9%	203	22.5%	26	13.5%	1062	28.5%
無回答・無効			9	0.7%	24	1.8%	17	1.9%	0	0.0%	50	1.3%
合計			1321	100.0%	1312	100.0%	901	100.0%	192	100.0%	3726	100.0%

### 各地区の比較

居住地区無回答者と中高一貫教育について無回答の者を除いて集計したもの。また、進路指導主事は居住地区の設問がないので集計に含まれない。

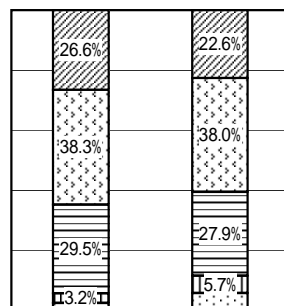
地区	連携型	併設型	中等教育学校	必要は感じない	どちらともいえない	合計
仙南地区	126	40	83	93	142	484
仙台市	139	43	139	197	231	749
仙塩地区	141	38	112	156	206	653
大崎地区	92	36	72	121	134	455
栗原地区	63	15	53	54	65	250
登米地区	53	21	41	48	64	227
石巻地区	95	37	62	83	107	384
気仙沼・本吉地区	54	14	51	48	81	248
合計	763	244	613	800	1030	3450



中高一貫教育について、タイプは別として「増やすべき」と回答した割合の合計が全体では45.6%と「増やす必要は感じない」の24.6%を21ポイント上回った。調査対象者を見ると、進路指導主事だけが「増やすべき」と回答した割合の合計が28.7%と「増やす必要は感じない」の57.8%を保護者・県民の回答と逆に約29ポイント下回る結果となった。既に中高一貫教育が展開されている大崎地区と気仙沼・本吉地区見ると、大崎地区では他地区に比べ「必要はない」との回答がわずかではあるが多く、気仙沼地区では「どちらともいえない」との回答が他地区より高かった。

15-1 農業高校や工業高校、商業高校などの専門高校、総合学科高校では、授業の中で就業体験や企業見学などの体験活動をしています。また、多種多様な職種の方々を学校に招き実際の仕事の話を直に聞く授業も行っています。あなたはこうした授業についてどう思いますか。あなたの考えに近いもの一つだけお選びください。(中学生、高校生)

	中2	高2	中保	高保	県民	進路指導主事	合計
ぜひ受けてみたい	378	347					725
受けてみたい	545	584					1129
どちらともいえない	420	429					849
あまり受けたくない	45	88					133
全く受けたくない	28	84					112
無回答・無効	7	5					12
合計	1423	1537					2960

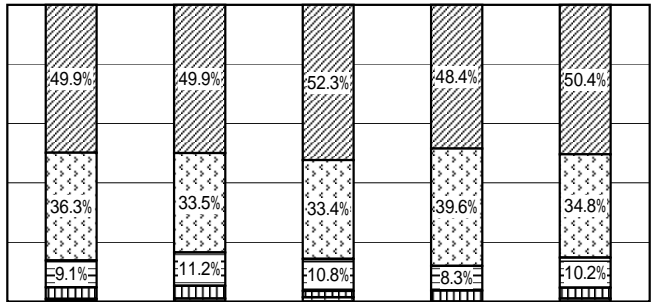


就業体験や職業講話などの授業を、6割以上の中学生、高校生が希望している。

15-2 農業高校や工業高校、商業高校などの専門高校、総合学科高校では、インターンシップ(就業体験等)や職業情報の確かな提供などに取り組んでいるところですが、豊かな勤労観・職業観を涵養するため、普通科においても、同じように取り組んだ方がよいと思いますか。あなたの考えに近いもの一つだけお選びください。(保護者、県民、進路指導主事)

	中2	高2	中保	高保	県民	進路指導主事	合計
全ての普通科高校においても取り組むべき			659 49.9%	655 49.9%	471 52.3%	93 48.4%	1878 50.4%
普通科高校の全ての生徒ではなく、高卒後、就職を希望する生徒を対象に取り組むべき			480 36.3%	440 33.5%	301 33.4%	76 39.6%	1297 34.8%
進学先でも学習する機会があるので、普通科高校は進学に向けた学習に集中すべき			120 9.1%	147 11.2%	97 10.8%	16 8.3%	380 10.2%
その他			50 3.8%	57 4.3%	19 2.1%	7 3.6%	133 3.6%
無回答・無効			12 0.9%	13 1.0%	13 1.4%	0 0.0%	38 1.0%
合計			1321 100.0%	1312 100.0%	901 100.0%	192 100.0%	3726 100.0%

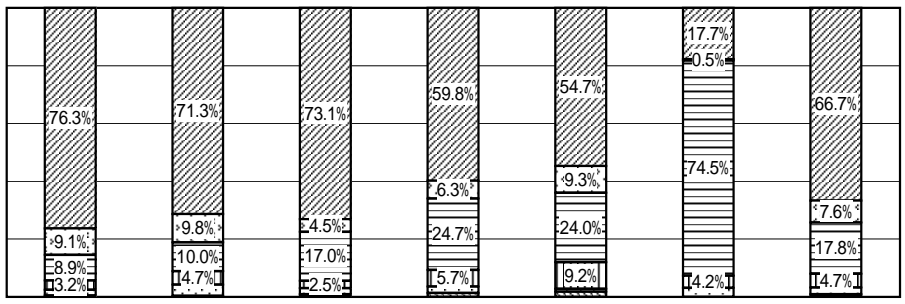
インターンシップ等の取組について、調査対象者全てで「全ての普通科高校で取り組むべき」と回答した割合が最も高く、全体で50.4%を占めた。



16 県立高校の入学者選抜制度(入試制度)について伺います。現在の制度は、(a)一般入試、(b)推薦入試、(c)第二次募集、と3回実施する形で行われています。これからの入学者選抜制度は、どのようにすれば良いとお考えですか。あなたの考えに近いものを、一つだけお選びください。

	中2	高2	中保	高保	県民	進路指導主事	合計
現在と同じ一般入試と推薦入試と第二次募集の3回が良い	1086 76.3%	1096 71.3%	965 73.1%	784 59.8%	493 54.7%	34 17.7%	4458 66.7%
一般入試、推薦入試の2回が良い	130 9.1%	151 9.8%	59 4.5%	82 6.3%	84 9.3%	1 0.5%	507 7.6%
一般入試、第二次募集の2回が良い	127 8.9%	153 10.0%	224 17.0%	324 24.7%	216 24.0%	143 74.5%	1187 17.8%
一般入試の1回が良い	45 3.2%	72 4.7%	33 2.5%	75 5.7%	83 9.2%	8 4.2%	316 4.7%
その他	28 2.0%	60 3.9%	29 2.2%	29 2.2%	9 1.0%	6 3.1%	161 2.4%
無回答・無効	7 0.5%	5 0.3%	11 0.8%	18 1.4%	16 1.8%	0 0.0%	57 0.9%
合計	1423 100.0%	1537 100.0%	1321 100.0%	1312 100.0%	901 100.0%	192 100.0%	6686 100.0%

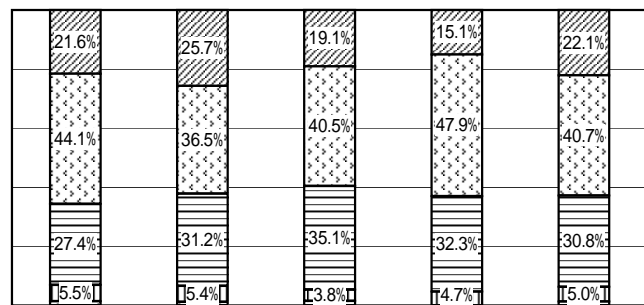
生徒、保護者、県民で、「現在と同じ一般入試と推薦入試と第二次募集の3回が良い」と回答した割合が最も高く、全体では66.7%を占めたのに対して、進路指導主事は「一般入試、第二次募集の2回が良い」とする回答が74.5%を占めた。



17 各県立高校では、教育の質の向上に向け、地域との連携に取り組んできております。県立高校が地域との連携をより深めていくために、最も重要なことは何だと思えますか。あなたの考えに近いもの一つだけお選びください。

	中2	高2	中保	高保	県民	進路指導主事	合計
家庭や地域社会の県立高校への理解			285 21.6%	337 25.7%	172 19.1%	29 15.1%	823 22.1%
県立高校の地域への情報発信・情報開示			582 44.1%	479 36.5%	365 40.5%	92 47.9%	1518 40.7%
高校と地域社会・企業等を結ぶ調整機関の存在			362 27.4%	409 31.2%	316 35.1%	62 32.3%	1149 30.8%
その他			73 5.5%	71 5.4%	34 3.8%	9 4.7%	187 5.0%
無回答・無効			19 1.4%	16 1.2%	14 1.6%	0 0.0%	49 1.3%
合計			1321 100.0%	1312 100.0%	901 100.0%	192 100.0%	3726 100.0%

調査対象者全てにおいて、「県立高校の地域への情報発信・情報開示」と回答した割合が最も高く、全体では、40.7%を占めた。次いで、「高校と地域社会・企業等を結ぶ調整機関の存在」の割合が高い結果となった。

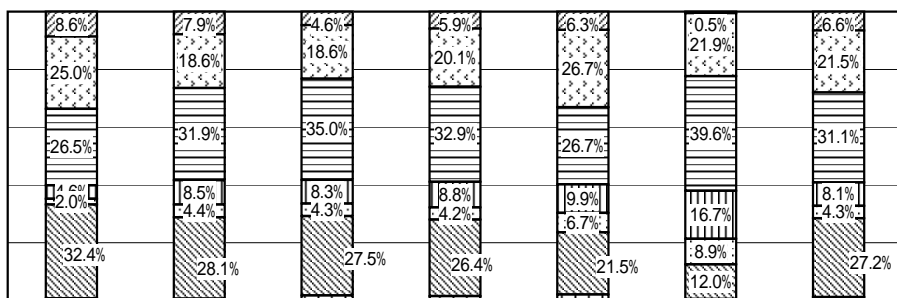


## これまでの県立高校改革の取組について

18 本県では、中高それぞれで行なわれている教育の課程を調整し、6年間を、一貫性を持つ体系的な教育を行う「中高一貫教育校」を作ってきましたが、この取組についてどう思いますか。あなたの考えに近いもの一つだけお選びください。また、それを選んだ理由についてお書きください。

	中2		高2		中保		高保		県民		進路指導主事		合計	
とても評価する	123	8.6%	121	7.9%	61	4.6%	77	5.9%	57	6.3%	1	0.5%	440	6.6%
評価する	356	25.0%	286	18.6%	246	18.6%	264	20.1%	241	26.7%	42	21.9%	1435	21.5%
どちらともいえない	377	26.5%	490	31.9%	462	35.0%	432	32.9%	241	26.7%	76	39.6%	2078	31.1%
あまり評価しない	66	4.6%	130	8.5%	109	8.3%	116	8.8%	89	9.9%	32	16.7%	542	8.1%
評価しない	29	2.0%	68	4.4%	57	4.3%	55	4.2%	60	6.7%	17	8.9%	286	4.3%
わからない	461	32.4%	432	28.1%	363	27.5%	347	26.4%	194	21.5%	23	12.0%	1820	27.2%
無回答・無効	11	0.8%	10	0.7%	23	1.7%	21	1.6%	19	2.1%	1	0.5%	85	1.3%
合計	1423	100.0%	1537	100.0%	1321	100.0%	1312	100.0%	901	100.0%	192	100.0%	6686	100.0%

中2	+	=	33.6%
	+	=	6.6%
高2	+	=	26.5%
	+	=	12.9%
中保	+	=	23.2%
	+	=	12.6%
高保	+	=	26.0%
	+	=	13.0%
県民	+	=	33.0%
	+	=	16.6%
教師	+	=	22.4%
	+	=	25.6%
合計	+	=	28.1%
	+	=	12.4%

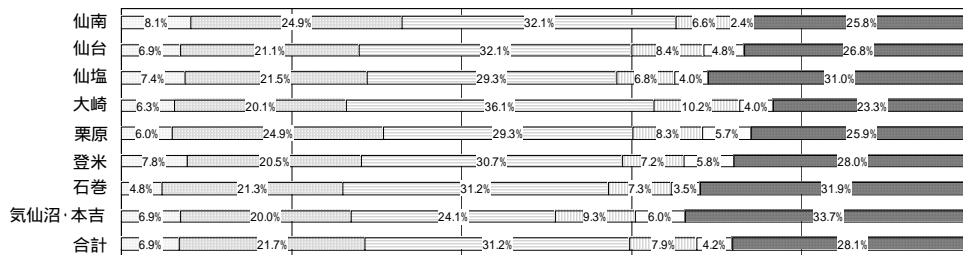


全体では、「とても評価する」「評価する」と回答した割合の合計が28.1%と、「あまり評価しない」「評価しない」の合計の12.4%を15.7ポイント上回った。  
 なお、調査対象別に見ると、進路指導主事だけが、「とても評価する」「評価する」と回答した割合の合計が22.4%であったのに対し、「あまり評価しない」「評価しない」の合計の25.6%という結果であった。

### 各地区の比較

居住地区無回答者と中高一貫教育の取組について無回答の者を除いて集計したもの。  
 また、進路指導主事は居住地区の設問がないので集計に含まれない。

	とても評価する	評価する	どちらともいえない	あまり評価しない	評価しない	わからない	合計							
仙南地区	73	8.1%	224	24.9%	288	32.1%	59	6.6%	22	2.4%	232	25.8%	898	100.0%
仙台市	101	6.9%	309	21.1%	470	32.1%	123	8.4%	70	4.8%	392	26.8%	1465	100.0%
仙塩地区	94	7.4%	272	21.5%	370	29.3%	86	6.8%	50	4.0%	392	31.0%	1264	100.0%
大崎地区	54	6.3%	172	20.1%	309	36.1%	87	10.2%	34	4.0%	199	23.3%	855	100.0%
栗原地区	23	6.0%	96	24.9%	113	29.3%	32	8.3%	22	5.7%	100	25.9%	386	100.0%
登米地区	28	7.8%	74	20.5%	111	30.7%	26	7.2%	21	5.8%	101	28.0%	361	100.0%
石巻地区	35	4.8%	154	21.3%	226	31.2%	53	7.3%	25	3.5%	231	31.9%	724	100.0%
気仙沼・本吉地区	29	6.9%	84	20.0%	101	24.1%	39	9.3%	25	6.0%	141	33.7%	419	100.0%
合計	437	6.9%	1385	21.7%	1988	31.2%	505	7.9%	269	4.2%	1788	28.1%	6372	100.0%

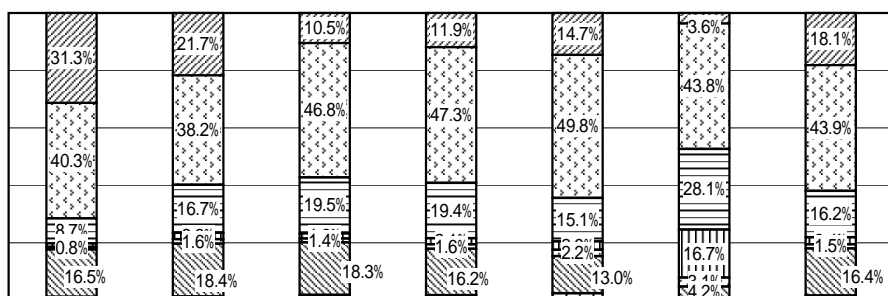


「とても評価する」「評価する」と回答した割合の合計と、「あまり評価しない」「評価しない」と回答した割合の合計の差を地域別に見ると仙南地区が最も大きく、23.8ポイントであった。次いで、気仙沼・本吉地区が11.6ポイント、大崎地区が12.2ポイントと小さい結果であった。

19 本県では、普通教科・専門教科(職業に関する教科)の中から自分が希望する授業科目を選んで学習できる総合学科高校を設置してきましたが、この取組についてどう思いますか。あなたの考えに近いもの一つだけお選びください。また、それを選んだ理由についてお書きください。

	中2	高2	中保	高保	県民	進路指導主事	合計
とても評価する	445 31.3%	334 21.7%	139 10.5%	156 11.9%	132 14.7%	7 3.6%	1213 18.1%
評価する	574 40.3%	587 38.2%	618 46.8%	620 47.3%	449 49.8%	84 43.8%	2932 43.9%
どちらともいえない	124 8.7%	256 16.7%	257 19.5%	254 19.4%	136 15.1%	54 28.1%	1081 16.2%
あまり評価しない	17 1.2%	35 2.3%	24 1.8%	27 2.1%	26 2.9%	32 16.7%	161 2.4%
評価しない	12 0.8%	24 1.6%	18 1.4%	21 1.6%	20 2.2%	6 3.1%	101 1.5%
わからない	235 16.5%	283 18.4%	242 18.3%	212 16.2%	117 13.0%	8 4.2%	1097 16.4%
無回答・無効	16 1.1%	18 1.2%	23 1.7%	22 1.7%	21 2.3%	1 0.5%	101 1.5%
合計	1423 100.0%	1537 100.0%	1321 100.0%	1312 100.0%	901 100.0%	192 100.0%	6686 100.0%

中2	+	= 71.6%
	+	= 2.0%
高2	+	= 59.9%
	+	= 3.9%
中保	+	= 57.3%
	+	= 3.2%
高保	+	= 59.2%
	+	= 3.7%
県民	+	= 64.5%
	+	= 5.1%
教師	+	= 47.4%
	+	= 19.8%
合計	+	= 62.0%
	+	= 3.9%

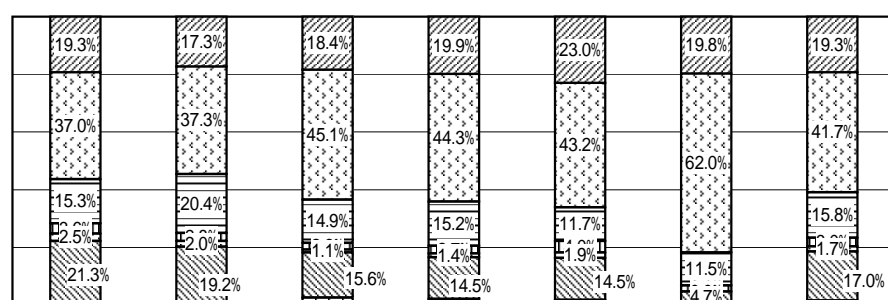


「とても評価する」「評価する」と回答した割合の合計が、全体で62.0%を占めた。調査対象者別に見ると、中学生ではプラス評価が71.6%と高かったが、進路指導主事では他の調査対象者に比べ、評価しない割合が若干高くなっている。

20 本県では、午前から夜間までの時間帯のうち、自分の希望する時間帯を選び学習できる定時制高校(昼夜間開講型定時制高校)を設置してきましたが、この取組についてどう思いますか。あなたの考えに近いもの一つだけお選びください。また、それを選んだ理由についてお書きください。

	中2	高2	中保	高保	県民	進路指導主事	合計
とても評価する	275 19.3%	266 17.3%	243 18.4%	261 19.9%	207 23.0%	38 19.8%	1290 19.3%
評価する	527 37.0%	573 37.3%	596 45.1%	581 44.3%	389 43.2%	119 62.0%	2785 41.7%
どちらともいえない	218 15.3%	314 20.4%	197 14.9%	200 15.2%	105 11.7%	22 11.5%	1056 15.8%
あまり評価しない	51 3.6%	43 2.8%	31 2.3%	35 2.7%	36 4.0%	4 2.1%	200 3.0%
評価しない	36 2.5%	30 2.0%	14 1.1%	18 1.4%	17 1.9%	0 0.0%	115 1.7%
わからない	303 21.3%	295 19.2%	206 15.6%	190 14.5%	131 14.5%	9 4.7%	1134 17.0%
無回答・無効	13 0.9%	16 1.0%	34 2.6%	27 2.1%	16 1.8%	0 0.0%	106 1.6%
合計	1423 100.0%	1537 100.0%	1321 100.0%	1312 100.0%	901 100.0%	192 100.0%	6686 100.0%

中2	+	= 56.3%
	+	= 6.1%
高2	+	= 54.6%
	+	= 4.8%
中保	+	= 63.5%
	+	= 3.4%
高保	+	= 64.2%
	+	= 4.1%
県民	+	= 66.2%
	+	= 5.9%
教師	+	= 81.8%
	+	= 2.1%
合計	+	= 61.0%
	+	= 4.7%

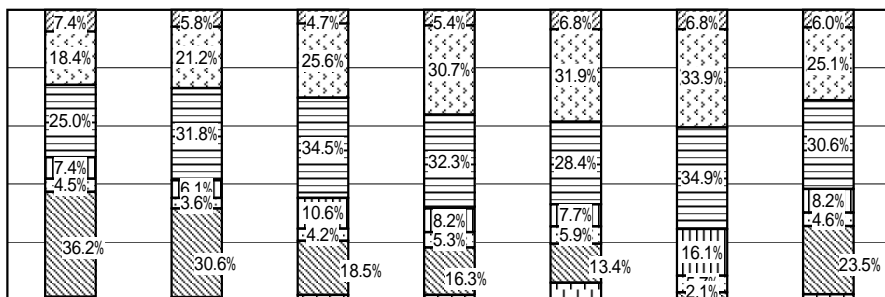


「とても評価する」「評価する」と回答した割合の合計が、全体で61.0%を占めた。中でも進路指導主事では、81.8%が評価するの回答となっている。

21 本県では、多様な教育活動やきめ細かな学校運営をするためには一学年6学級(240人)程度が望ましい学校規模であると考え、生徒減少に対応して学科のバランスや地理的状况を勘案しながら高校の統合や再編を進めてきましたが、このような生徒数の減少に対応した学校再編の取組についてどう思いますか。あなたの考えに近いものを一つだけお選びください。また、それを選んだ理由についてお書きください。

	中2		高2		中保		高保		県民		進路指導主事		合計	
とても評価する	106	7.4%	89	5.8%	62	4.7%	71	5.4%	61	6.8%	13	6.8%	402	6.0%
評価する	262	18.4%	326	21.2%	338	25.6%	403	30.7%	287	31.9%	65	33.9%	1681	25.1%
どちらともいえない	356	25.0%	488	31.8%	456	34.5%	424	32.3%	256	28.4%	67	34.9%	2047	30.6%
あまり評価しない	105	7.4%	93	6.1%	140	10.6%	108	8.2%	69	7.7%	31	16.1%	546	8.2%
評価しない	64	4.5%	56	3.6%	56	4.2%	69	5.3%	53	5.9%	11	5.7%	309	4.6%
わからない	515	36.2%	470	30.6%	245	18.5%	214	16.3%	121	13.4%	4	2.1%	1569	23.5%
無回答・無効	15	1.1%	15	1.0%	24	1.8%	23	1.8%	54	6.0%	1	0.5%	132	2.0%
合計	1423	100.0%	1537	100.0%	1321	100.0%	1312	100.0%	901	100.0%	192	100.0%	6686	100.0%

中2	+	= 25.8%
	+	= 11.9%
高2	+	= 27.0%
	+	= 9.7%
中保	+	= 30.3%
	+	= 14.8%
高保	+	= 36.1%
	+	= 13.5%
県民	+	= 38.7%
	+	= 13.6%
教師	+	= 40.7%
	+	= 21.8%
合計	+	= 31.1%
	+	= 12.8%

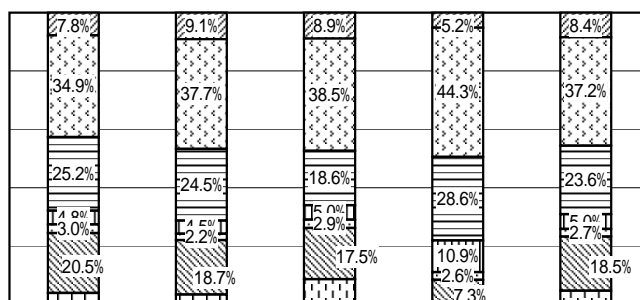


「とても評価する」「評価する」と回答した割合の合計は、全体で31.1%を占め、「あまり評価しない」「評価しない」の合計の12.8%を18.3ポイント上回った。

22 本県では、学校評議員制度 や学校の自己点検・自己評価の充実を進めるとともに、学校施設の地域開放や学校自由見学日の設定など、「開かれた学校づくり」を推進してきました。この取組の成果についてどう思いますか。あなたの考えに近いものを一つだけお選びください。また、それを選んだ理由についてお書きください。

	中2		高2		中保		高保		県民		進路指導主事		合計	
とても評価する					103	7.8%	120	9.1%	80	8.9%	10	5.2%	313	8.4%
評価する					461	34.9%	494	37.7%	347	38.5%	85	44.3%	1387	37.2%
どちらともいえない					333	25.2%	322	24.5%	168	18.6%	55	28.6%	878	23.6%
あまり評価しない					63	4.8%	59	4.5%	45	5.0%	21	10.9%	188	5.0%
評価しない					39	3.0%	29	2.2%	26	2.9%	5	2.6%	99	2.7%
わからない					271	20.5%	245	18.7%	158	17.5%	14	7.3%	688	18.5%
無回答・無効					51	3.9%	43	3.3%	77	8.5%	2	1.0%	173	4.6%
合計					1321	100.0%	1312	100.0%	901	100.0%	192	100.0%	3726	100.0%

中保	+	= 42.7%
	+	= 7.8%
高保	+	= 46.8%
	+	= 6.7%
県民	+	= 47.4%
	+	= 7.9%
教師	+	= 49.5%
	+	= 13.5%
合計	+	= 45.6%
	+	= 7.7%

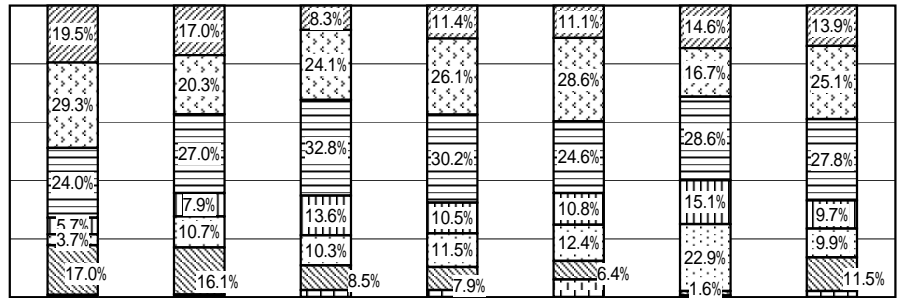


「とても評価する」「評価する」と回答した割合の合計が全体の45.6%を占め、「あまり評価しない」「評価しない」の合計の7.7%を37.9ポイント上回った。

23 本県では、これまで、全ての県立高校の男女共学化を進めてきました。この取組についてあなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いもの一つだけお選びください。また、それを選んだ理由についてお書きください。

	中2		高2		中保		高保		県民		進路指導主事		合計	
とても評価する	278	19.5%	262	17.0%	110	8.3%	149	11.4%	100	11.1%	28	14.6%	927	13.9%
評価する	417	29.3%	312	20.3%	318	24.1%	342	26.1%	258	28.6%	32	16.7%	1679	25.1%
どちらともいえない	341	24.0%	415	27.0%	433	32.8%	396	30.2%	222	24.6%	55	28.6%	1862	27.8%
あまり評価しない	81	5.7%	122	7.9%	180	13.6%	138	10.5%	97	10.8%	29	15.1%	647	9.7%
評価しない	53	3.7%	165	10.7%	136	10.3%	151	11.5%	112	12.4%	44	22.9%	661	9.9%
わからない	242	17.0%	248	16.1%	112	8.5%	104	7.9%	58	6.4%	3	1.6%	767	11.5%
無回答・無効	11	0.8%	13	0.8%	32	2.4%	32	2.4%	54	6.0%	1	0.5%	143	2.1%
合計	1423	100.0%	1537	100.0%	1321	100.0%	1312	100.0%	901	100.0%	192	100.0%	6686	100.0%

中2	+	=	48.8%
	+	=	9.4%
高2	+	=	37.3%
	+	=	18.6%
中保	+	=	32.4%
	+	=	23.9%
高保	+	=	37.5%
	+	=	22.0%
県民	+	=	39.7%
	+	=	23.2%
教師	+	=	31.3%
	+	=	38.0%
合計	+	=	39.0%
	+	=	19.6%



「とても評価する」「評価する」と回答した割合の合計が全体で39.0%を占め、「あまり評価しない」「評価しない」と回答した合計の19.6%を19.4ポイント上回った。

**「教育に関する意識調査」 集計結果**  
 平成20年9月～10月実施  
 ～ 高校教育関係分を抜粋 ～

**調査の概要**

**1 調査目的**

教育基本法第17条第2項の規定に基づき、本県教育の振興に関する総合的かつ計画的な推進を図るため、基本的な方針、講ずべき施策の方向性等を示す本県の教育振興基本計画を策定するに当たり、県民の教育に関する意識をアンケート形式により調査し、本計画策定の基礎資料とするもの

**2 調査項目**

県民の教育に関する意識を調査するため、本調査の調査項目は概ね次のとおりとする。

- (1) 学校教育や家庭教育など教育の現状等に関すること
- (2) これからの教育の目指すべき方向性に関すること
- (3) 学校、家庭、地域等が担うべき教育の役割と期待に関すること
- (4) 生涯学習、スポーツ、文化、芸術等に関すること

**3 調査対象**

一般県民

県内に在住する平成20年4月1日現在で満20歳以上の男女3,000人  
 (男1,500人, 女1,500人)

学校等保護者

県内の保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校26校(所・園)の保護者1,603人

**4 調査方法**

- (1) 調査票の配布、回収は郵送等により行う。
- (2) 調査標本の抽出方法
  - 一般県民  
 県内全市区町村選挙人名簿から無作為抽出
  - 学校等保護者  
 地域バランス、学校種を考慮した上で学校統計要覧等から抽出

**5 調査期間**

平成20年9月19日～平成20年10月10日

**6 回収結果**

一般県民

回答数1,034通 回収率34.47%

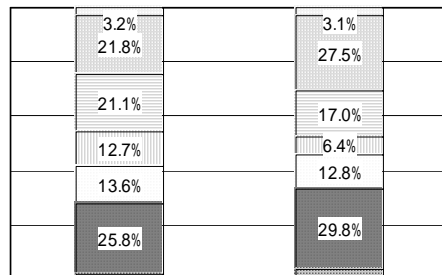
学校等保護者

回答数1,293通 回収率80.66%

1 今の高等学校の教育についてどう思いますか。(1つ)

	県民		保護者	
満足している	33	3.2%	40	3.1%
ほぼ満足している	225	21.8%	355	27.5%
やや不満である	218	21.1%	220	17.0%
不満である	131	12.7%	83	6.4%
どちらともいえない	141	13.6%	166	12.8%
わからない	267	25.8%	385	29.8%
無回答・無効	19	1.8%	44	3.4%
合計	1034	100.0%	1293	100.0%

「満足している」「ほぼ満足している」の満足傾向、「不満である」又は「やや不満である」の不満足傾向は、共に3割近い回答となっている。  
 県民は不満傾向が高いのに対して、保護者は満足傾向が高い。

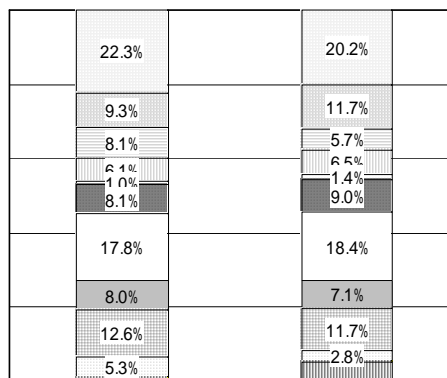




2 望ましい高校の教師とは、どのような教師だと思いますか。(3つまで)

	県民		保護者	
高い専門的知識や技術を持つ教員	650	22.3%	670	20.2%
子どもによくわかる教え方をする教員	272	9.3%	386	11.7%
物事や現象を感動を持って語ることでできる感性豊かな教員	236	8.1%	190	5.7%
子どもの立場になって考える教員	179	6.1%	214	6.5%
明るく子どもと接する教員	29	1.0%	47	1.4%
公平に子どもと接する教員	235	8.1%	299	9.0%
子どもの適性を把握し、個性を伸ばす教員	518	17.8%	610	18.4%
子どもをきびしく指導できる教員	232	8.0%	234	7.1%
何でも気軽に相談できる教員	367	12.6%	386	11.7%
学校だけでなく、地域活動や社会活動でも指導者になってくれる教員	156	5.3%	91	2.8%
その他	13	0.4%	7	0.2%
無回答・無効	29	1.0%	175	5.3%
合計	2916	100.0%	3309	100.0%

「高い専門的知識や技術を持つ教員」「子どもの適性を把握し、個性を伸ばす教員」「何でも気軽に相談できる教員」が多い回答となっている。  
県民と保護者は、ほぼ同じ傾向の回答であった。



3 毎年文部科学省が行っている調査によって、宮城県の高校生の大学進学率・現役進学達成率が全国的に見て低位となっています。このことについてどう思いますか。(1つ)

	県民		保護者	
生徒が希望した大学等に入学できるよう、低位となっている原因を調べ、生徒の適性に見合った進学指導にもっと力を入れる必要がある	239	23.1%	327	25.3%
生徒の希望を尊重した結果であれば、進学率や現役進学達成率が低くても特に問題ではない	272	26.3%	333	25.8%
進学も就職も、生徒自身が早いうちに将来なりたい職業などの希望を持ち、目標に向けて努力させることが大切である	439	42.5%	480	37.1%
他の都道府県と数字上の結果を比較するのは意味がない	48	4.6%	71	5.5%
その他	12	1.2%	18	1.4%
無回答・無効	24	2.3%	64	4.9%
合計	1034	100.0%	1293	100.0%

「進学も就職も、生徒自身が早いうちに将来なりたい職業などの希望を持ち、目標に向けて努力させることが大切である。」が約4割と最も多い。

